

第八十六回帝國議會 衆議院 軍需金融等特別措置法案外四件委員會會議錄(速記)第二回

付託議案

軍需金融等特別措置法案(政府提出) (第四號)

臨時資金調整法中改正法律案(政府提出) (第五號)

戰時金融庫法中改正法律案(政府提出) (第六號)

生命保險中央會法案(政府提出) (第七號)

損害保險中央會法案(政府提出) (第八號)

昭和二十年一月二十四日(水曜日)午後一時十六分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 久山 知之君

理事池本甚四郎君 理事九鬼 紋七君

赤間 德壽君 一宮房治郎君

大倉 三郎君 長内 健榮君

加藤 弘造君 田中 亮一君

高島龜太郎君 中基半左衛門君

中原 謹司君 廣野規矩太郎君

深澤 吉平君 星 一君

松本治一郎君 松山常次郎君

宮崎 一君 由谷 義治君

渡邊善十郎君

出席國務大臣左ノ如シ

大藏大臣 石渡壯太郎君

出席政府委員左ノ如シ

大藏參與官 田村 秀吉君

大藏省國民貯蓄局長 氏家 武君

大藏省銀行保險局長 迫水 久常君

大藏書記官 吉村 成一君

大藏書記官 福田 越夫君

定金融機關ト軍需會社トノ相互協力ニ

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

軍需金融等特別措置法案(政府提出) 臨時資金調整法中改正法律案(政府提出)

戰時金融庫法中改正法律案(政府提出) 生命保險中央會法案(政府提出)

損害保險中央會法案(政府提出) ○久山委員長 ソレデハ是ヨリ開會致

シマス、委員會ヲ開キマス前ニ一應御 挨拶ヲ申上ゲマス、圖ラズモ私委員長

ニ御推舉戴キマシテ、暫ク此ノ席ヲ汚 サシテ戴キマス、固ヨリ甚ダ不慣レデ

アリマシテ、色々御目ダライ點モアル カモ存ジマセヌガ、ドウカ皆様ノ御協

力ノ下ニ、最モ意義ノアル委員會ノ效 果ヲ擧ゲタイト考ヘテ居リマス、本委

員會ニ付託セラレマシタ法律案ハ、軍 需金融等特別措置法案、臨時資金調整

法中改正法律案、戰時金融庫法中改 正法律案、生命保險中央會法案、損害

保險中央會法案、以上五件デアリマス、 大藏大臣ノ説明ヲ求メマス

○石渡國務大臣 軍需金融等特別措置 法案外四件ノ法律案ニ付キ説明致シマ

ス、軍需金融等特別措置法案ハ戰力増 強ノ要請ニ應ジマス爲メ昨年初頭以來

軍需會社ノ指定ニ付キマシテ、軍需融 資指定金融機關制度ヲ設ケマシテ、各軍

需會社ニ付テ其ノ所要資金ノ融通ヲ擔 當スベキ金融機關ヲ指定シ、右機關ヲ

以テ擔當軍需會社ノ所要ニ應ジマシテ 軍需事業資金ノ簡易迅速ナル供給ヲ圖

ラシメタノデアリマスガ、本制度ハ指 定金融機關ト軍需會社トノ相互協力ニ

依リマシテ、産業ト金融トノ緊密化ヲ

促進スル上ニ多大ノ效果ガアツタト存

ゼラレルノデアリマス、併シナガラ戰

局苛烈ニ相成リマシタ今日ニ於キマシ

テハ、右軍需融資指定金融機關制度ヲ

法律的ニ其ノ意義ヲ明カニシ、且ツ之

ヲ強化シ、軍需會社以外ノモノニ對ス

ル資金ノ融通ニ付テモ此ノ方式ヲ採用

ス、軍需金融、其ノ他金融ノ圓滑適正

ヲ圖リマス共ニ資金ノ效率ノ使用ヲ

促進致ス必要ガアルノデアリマス、サ

ルコト目目的トシマシテ本法案ガ出來

テ居ル次第ゴザイマス、軍需金融等

特別措置法案ノ第一條ニ之ヲ明カニ致

シテ居ル次第デアリマス

次ニ、本法案ノ主ナル點ニ付テ御説明

致シタイト存ジマス、第一ハ軍需會社其

ノ他命令ヲ以テ定ムル事業者ニ對スル

之ヲ其ノ擔當軍需金融機關ニ集中シ得

ルコトト致シタノデアリマス

其ノ次ニハ軍需金融機關ガ擔當事業

者カラ申込ミテ受ケマシタ資金ヲ融通

スルコトガ難カシト認メタ場合ニ於

キマシテハ、遲滞ナク理由ヲ具シテ其

ノ旨ヲ政府ニ申出ルコトヲ要スルノデ

アリマシテ、此ノ申出ガアリマシタ場

合ニ於キマシテハ、政府ハ當該資金ニ

付テ必要ナル措置ヲ講ズルコトト致シ

タノデアリマス、更ニ軍需金融機關ハ

擔當事業者トノ連絡ニ當ラシムル爲メ、

擔當事業者毎ニ軍需金融擔當者ヲ選任

スルヲ要スルコトト致シタノデアリマ

ス

第三ハ軍需金融機關ハ擔當事業者ヨ

リ委託ノ前アリマシタ場合ニハ、其ノ賣

買代金、前受金、前渡金等ノ代理受拂

其ノ擔當事業者ニ對スル資金ノ融通ニ

因ル收入ノ一部ヲ以テ、一定ノ標準

ニ依ツテ特別ノ積立金ヲ積立テシムル

コトト致シタノデアリマス、此ノ積立

金ハ政府ノ許可ヲ受ケマシテ損失ノ填

補等ニ用エル場合モアルノデアリマス

ガ、尙ホ殘額ニアリマシタ場合ニハ大

東亞戰爭終了後別ニ法律ヲ以テ定ムル

所ニ依リ、其ノ一部ヲ政府ニ納付スベ

キコトヲ命ジ得ルコトニ致シタノデア

リマス

第六ハ全金融機關ノ同業一體、協力

一致ノ態勢ヲ更ニ一層強化スルコトト

致シタノデアリマス、即チ政府ハ必要

ニ應ジマシテ金融機關ニ對シ軍需金融

機關ニ協力セシムル爲メ必要ナル命令

ヲスルコトトガ出來ルコトニ致シタノデ

アリマス

第九ニ於キマシテハ本法又ハ本法ニ基イテ發シマシテハ命令、處分ノ效果ノ確保上差支ヘアリト認メマシテ場合ニハ、政府ハ金融機關ノ役員ヲ解任シ得ルコトトシタリデアリマス、左様ナ點ガ此ノ軍需金融等特別措置法ニ大體規定シタコトデゴザイマス

其ノ次ニ臨時資金調整法中ノ改正法律案ニ付テ御說明致シマス、改正ノ第一點ハ興業債券ノ發行限度ノ問題デアリマシテ、五十億圓ヨリ百億圓ニ増加シタリト存ズルノデアリマス、現在興業債券ノ發行限度額ハ日本興業銀行法ニ依リ發行限度額八億七千五百萬圓及ビ本法ニ依ツテ發行致シマスル五十億圓ヲ加ヘマシテ合計五十八億七千五百萬圓デアリマスガ、最近ニ於キマスル日本興業銀行ノ資金ノ需要ハ益々増加シテ居ルノデアリマシテ、同行ニ於キマスル昨年中ノ貸付ハ三十六億九千餘萬圓ニ上ツテ居ルノデアリマシテ、是ガ所要ノ資金ヲ賄ヒマス爲ニ倍額ニ擴張ヲ致シタリト思フノデアリマス

改正ノ第二點ハ日本勸業銀行ノ定期預金及ビ公金預金以外ノ預リ金ニ關スル限度ヲ撤廢スルコトデアリマス、日本勸業銀行ノ此ノ種ノ預リ金總額ハ現在日本勸業銀行法中ニ拂込資本金額及ビ積立金總額ヲ超過スルコトヲ得ザル旨ノ規定ガアルノデアリマスガ、左様ノ規定ハ同行ガ貯蓄ノ増強ニ邁進シツツアリマスル此ノ際ニ於テ不適當デアルト存ズルノデアリマシテ、其ノ制限ヲ緩和シタリト存ズルノデアリマス

改正ノ第三點ハ、割増金附證券ノ發行ヲ技術的ニ容易ニ致シマスル爲ニ、商法ノ社債ニ關スル規定ノ特例ヲ設ケントスルモノデアリマシテ、記載ノ事項ヲ簡單ニ致サントスルモノデアリマス

改正ノ第四點ハ、政府ハ資金ノ吸收ヲ圖ル爲メ、必要アリマスル場合ニ於テハ其ノ賣却代金ノ一部ヲ抽籤ヲ以テ返還シ、元金ヲ返還シナイ證券ノ發賣ヲ致サントスルモノデアリマス、從來政府ハ國民貯蓄増強方策ノ一ツト致シマシテ、貯蓄債券、報國債券、福券ノヤウナ割増金附ノ證券ノ發行ヲ實施致シテ來タノデアリマスガ、是等ノ制度ハ總テ購買者ニ於キマシテ元金ノ返還ヲ受クルモノデアリマシテ、専ラ利子ノ範圍ニ於テノ割増金ヲ取得スルコトニナツテ居ツタノデアリマスガ、今同是等ノ制度ヲ一歩前進致シマシテ、元金ヲ償還シナイ、即チ富籤ニ該當スル所ノ證券ノ發賣ヲ實施スルコトノ出來ルヤウニ致シタリトデアリマス

改正ノ第五點ハ、國民貯蓄増強策ノ圓滑ニ實施ヲ圖リタイト存ジマシテ、從來色々國民貯蓄ノ割當ト云フコトハ問題ニナツテ居ツタヤウデアリマシテ、茲ニ都道府縣、市町村ノ官民ノ關係者ヲ網羅スル所ノ國民貯蓄運籌委員會ヲ設ケマシテ、割當基準ノ策定等ノ仕事ニ當ラシメタイト存ズルノデアリマス、左様ナモノヲ置キタイト存ジテ居ル次第デアリマス

改正ノ第六點ハ、割増金附證券、割増金附預金、其ノ他貯蓄ノ割増金等ノ支拂ヲ國債證券其ノ他ノ有價證券ヲ以テ行ヒマスル場合ニ於テ、有價證券ノ稅即チ居ル價證券移轉稅ヲ免除シタリト存ジテ居ルノデアリマス、是等ノ點ガ此ノ臨時資金調整法中ノ改正法律案ノ主ナル要點デアリマス

戰時金融庫庫法中改正法律案ニ付テ說明致シマス、昭和十七年、戰時金融庫ノ設立以來、同金融庫ニ於キマシテ生産擴充等ノ爲メ緊要ナ資金ノ供給ヲ

致シテ參ツタノデアリマスガ、其ノ資金ガ多額ニ上ツテ參ツタノデアリマシテ、此ノ戰時金融庫ノ債券發行ノ限度ヲ、資本金ノ十倍カラ三十倍ニ引上ゲヨウト致スノデアリマス、現在三億圓ノ資本金デアリマスカラ、其ノ拂込資本金額ノ十倍即チ三十億圓ガ今日ノ限度デゴザイマスガ、ソレヲ三十倍ニ致スノデゴザイマスカラ、九十億圓ニ擴張ヲ致サレル、斯様ナコトニナツテ參ル譯デゴザイマス、既ニ現在戰時金融債券ヲ發行シテ居リマスノガ二十四億八千萬圓デゴザイマシテ、既ニ左様ナ發行ヲ致シテ居ルモノデゴザイマスカラ、五億一千餘萬圓ヲ殘スノミニ相成ツテ居リマシテ、來年度ノコトヲ考ヘマシテ、斯クノ如ク擴張ヲ致シタイト思フテ居ル次第デアリマス

次ニ生命保險中央會法案ニ付テ御說明致シマス、元來民營ノ生命保險會社ノ約款ト致シマシテハ、戰爭其ノ他ノ變亂ニ因ル所ノ死亡ニ關シマシテハ保險金ヲ拂ハナイカ、又ハ特別保險料ノ徵收ハ保險金ヲ削減致シテ支拂ワカ、何レカノ方法ニ依ツテ居タノデアリマス、併シナガラ支那事變ガ始マリマシテ以來ト云フモノハ、舊來ノ約款ノ如何ニ拘ラズ、生命保險株式會社ハ戰爭ニ因ル死亡ニ對シテ、保險金ヲ完全ニ拂フト云フ所ノ申合セヲ致シ、大東亞戰爭勃發後モ引續イテソレヲ實行致シテ今日ニ至ツタノデアリマス、特ニ新規ノ契約ニ付キマシテハ昭和十八年二月各會社ノ申合セニ基キマシテ約款ヲ統一シテ、戰爭其ノ他ノ變亂ニ因ル死亡ニ對シテモ、原則トシテ保險金ヲ拂フト云フ所ノ責任ニ任ジテ今日ニ及ンデ居ルノデアリマス、斯クノ如ク生命保險株式會社ガ支那事變勃發以來

戰爭ニ因ル死亡ニ對シテ保險金ヲ支拂ツテ來タノデアリマスガ、今後ニ於キマシテノ狀況ヲ考ヘレバ、保險金ノ拂ヒト云フモノガ漸次増大ヲ致シテ來ルノデアリマシテ、此ノ儘推移ヲ致スノデアリマスレバ、保險會社ノ内容ガ漸次悪ク相成ツテ來マス、場合ニ依ツテハ保險金ヲ拂ヘナイト云フウヤナ事態ノ生ズル虞レモアリマシテ、此ノ際政府ニ於キマシテ、再保險ヲ致ス所ノ生命保險中央會ト云フモノヲ設立致シマシテ、大部分ノ出資ハ政府ニ於テ之ヲ受持チマシテ、サウシテ生命保險ノ再保險ヲシタイト存ジテ居ル次第デアリマス

次ニ損害保險中央會法案ニ付テ御說明致シタイト存ジマス、此ノ損害保險ハ平時ニ起ルコトアルベキ危險ヲ保險スル、即チ普通ノ保險ト、戰爭ニ因ル所ノ危險ヲ保險スル戰爭保險トアリマスコトハ御承知ノ通りデアリマスガ、普通ノ保險ニ付キマシテハ今次歐洲戰爭勃發以來、我が國民間ノ保險會社ハ再保險事業ニ關シマシテ外國會社トノ取引ヲ失ヒマシタガ爲メ、各保險會社ノ申合セニ依リマシテ再保險ヲ專門ト致シマスル東亞火災海上再保險會社ヲ組織シマシテ、之ニ依ツテ陸上海上ノ普通損害保險ノ再保險ヲシテ來タノデアリマス、併シナガラ保險價格ガ多クナツテ來マス場合ニ於テハ再保險機構ノ基礎ニ影響スル虞モアルノデアリマスカラ、同社ハ其ノ引受クル所ノ火災海上再保險ノ中一定額ヲ超過スル部分ヲ其ノ都度國營再保險ニ付シテ居ツタノデアリマス、隨テ此ノ間元受ノ保險會社、東亞火災海上再保險株式會社、政府三者ノ間ニ屢々、手續書面ノ重複ヲ生ジテ居ルノデアリマス

爭勃發ヲ機トシマシテ陸上、海上ノ諸財產ガ戰爭ニ因ル所ノ危險ニ曝サレルニ至リマシタノデ、政府ニ於キマシテハ昭和十五年損害保險國營再保險法ヲ昭和十七年戰爭保險臨時措置法ヲ設ケマシテ、以テ戰爭事故ニ因ル所ノ陸上、海上ノ物的財產ノ損害ヲ救済シ來ツタノデアリマスガ、更ニ大東亞戰爭勃發ト共ニ、昨昭和十九年戰爭保險臨時措置法ヲ戰時特殊損害保險法ニ改メマシテ、空襲等ノ戰爭事故ノ外、戰時中ニ起ルコトアルベキ地震ノ被害等ニ付テモ物的財產ヲ保護スルコト相成ツテ今日ニ及ンデ居リマスコトハ御承知ノ通りデアリマス、併シナガラ是等損害保險ノ制度ハ從來ノ機構ヲ以テシテハ其ノ運営ニ於テ缺クル所アリ、且ツ其ノ手續ノ重複致シテ居ル部分モ少カラザルヲ認メマシテ、茲ニ損害保險中央會ヲ設置致シマシテ、斯クノ如キ陸上、海上ノ普通並ニ戰爭事故ニ對スル保險制度ノ運営ヲ全面的ニ損害保險中央會ヲシテ扱ハシメ、以テ適切迅速ニ其ノ運営ヲ圖ツテ行キタイト存ジテ居ル次第デアリマス、大體法律案ノ御說明ヲ致シタコトデアリマス

○久山委員長 議案審査ニ付テ御諮リ致シマス、大藏大臣ハ他ニ二ツノ委員會ヲ御控ヘニナツテ居リマシテ、何レモ大臣ノ出席ヲ待チ兼テ居ルサウデアリマス、隨テ一應此ノ委員會カラ御退席ニナルコトヲ要求サレテ居リマス、洵ニ已ムヲ得ナイ次第ト考ヘマシテ委員長ハ之ヲ承認致シマシタ、就キマシテハ此ノ儘審議ヲ進メテ參リマスカ、或ハ審議ヲ後廻シニ致シマシテ、明日ノ第二回目ノ委員會ニ於テ質疑ヲ續行スルコトニ致シマスカ、此ノ點ニ關シマシテ各位ノ御意見ノ御發表ヲ御願ヒ

居ルノデアリマス

致シマス

○星委員 大臣ガ御留守デモ質疑ヲ繼續サレタ方ガ宜カラウト思ヒマス

○宮崎委員 是ハ重大ナ問題デスカラ、大臣ガ居ラレナケレバ明日マデ延バシテ、十分御質問申上ゲタイト思ヒマス

○星委員 質疑ヲ繼續シ、其ノ結果大臣ノ出席ガ必要ナ時ニハ御出デラ願フト云フコトデ、斯ウ云フ時局デスカラ質疑ヲ繼續サレノコトヲ望ミマス

○一宮委員 是ハ相當重要ナ法案デスカラ、初メハ大臣ノ御説明ヲ願フコトガ多イト思ヒマス、ヤハリ一應大臣ノ御都合ノツク時ニ質問ヲ進メ、又大臣ノ御都合ガ悪ケレバ、其ノ時ハ續イテ細目ニ入ルト云フコトニシマシテ、明日御都合ノ好イ時マデ延バサレテハ如何デスカ

○久山委員長 ドウモ宮崎君ノ御意見ニ御賛成ノ方ガ多イヤウデゴザイマスカラ、質疑ハ明日ニ延バスコトニ致シマス、此ノ際資料ノ要求、其ノ他御希望ガアリマスレバ伺ヒタイト思ヒマス

○松本(治)委員 資料ノ請求ヲ致シマス
一、戦時金融金庫ヨリ軍需會社ニ融資セラレタル資金額ノ産業別、會社別一覽表並ニ其ノ運用及ビ回収状況
二、重要軍需會社ノ利益率一覽表
三、軍需會社ニ就業セル工員、徴用工、學徒ノ人員比率及ビ賃金總額中三者ノ占ムル比率
四、軍需會社ノ新工場建設費中、建築物建設費、土地購入費ノ占ムル割合
五、主要軍需會社ノ固定資産ノ償却状況

是ダケ御願ヒ致シタイト思ヒマス

○中原委員 只今要求セラレマシタ以外ニ、受命金融機關ノ數、其ノ主ナル銀行及ビ金融會社名、ソレカラ勅令案ノ骨子ガ分ツテ居ツタラ示シテ戴キタイト思ヒマス

ソレカラ次ニ生命保險中央會法案ノ方デアリマスガ、既往ノ生命保險契約高、人員、及ビ其ノ金額、其ノ死亡率及ビ再保險ニ依ル支拂高、損害保險ノ方モ同様デアリマス、以上、若シ分レバ御示シ願ヒタイト思ヒマス

○池本委員 參考資料ノ點デアリマスガ、政府側ニ希望ヲ致シタイト思フノデアリマス、本委員會ニ審議セラレマスル法案デアリマスガ、是ハ今議會中ノ最重要ナル法案デアリマスルノデ、只今要求セラレマシタ法案中ノ命令要綱ノ如キハ無論デアリマスガ、其ノ他ニ於キマシテモ審議上必要デアリマスル關係事項ノ資料ハ、成ベク政府ニ於キマシテ多ク且ツ早ク御提供ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、曾テノ例ニ依リマスレバ豫算委員會ニ提出セラレル參考資料全部ヲ貰ヒタイト云フヤウナ要求ヲサレテ居ル委員會モアツタヤウデアリマス、私ハソコマデハ申シマセヌガ、左様ナ意味ヲ以チマシテ、政府ニ於キマシテハ、出來ルダケ多クノ關係資料ヲ御提供願ヒタイト思ヒマス、政府ノ方ヘ委員長カラ御傳ヘ願ヒタイト思ヒマス

○久山委員長 只今委員諸君カラ御希望ニナリマシタ資料ハ、成ベク早ク委員會ノ方ヘ御提出アラノコトヲ政府ニ要望致シマス、ソレカラ質疑デアリマスガ、質疑ノ御希望ノ方々ハ理事ノ諸君マデ、御氏名ノ御通告アラノコトヲ希望致シマス、次回ノ委員會ハ明日ノ午後一時ノ開會ニ一應決定致シテ置

キマス、尙ホ確定日時ハ公報ヲ以テ御通知申上ゲマス、本日ハ之ヲ以チマシテ散會致シマス
午後一時五十二分散會

昭和二十年一月二十五日印刷

昭和二十年一月二十五日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局